

LPS コンサルティング事務所

2016.4

お知らせ

最近、食べる LPS、免疫ビタミン LPS、美肌に良い LPS という宣伝広告やテレビ放映が話題になっていますが、当事務所とは一切関係ありません。これらのキャッチフレーズは、通常の Lipopolysaccharide(LPS)が、あたかも食品の機能性関与成分または機能性化粧品素材であるかのごとき印象を与えかねず、注意が必要です。本品は植物共生グラム陰性細菌（パントエア菌、*Pantoea agglomerans*）由来の LPS であり、これまで経口投与による安全性と有用性（自然免疫活性化）が報告され、いくつかの関連商品が販売されています。しかしながら、LPS は腸内細菌叢により常時産生され、経口摂取、経皮吸収の意義および科学的根拠が限定的で必ずしも明確ではありません。一方、LPS はグラム陰性菌の細胞壁成分であり、内毒素（エンドトキシン）とも呼ばれる代表的な発熱性物質(パイロジェン)です。血中に入ると重篤なエンドトキシンショックを引き起こす場合があります。医薬品(注射剤)や生物学的製剤、高度管理医療機器等においては厳重な GMP 製造、品質管理が課せられています。